

2024年 2 月 21 日

トーカロ、CDP「気候変動レポート 2023」で「B スコア」を獲得

トーカロ株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役 社長執行役員:小林和也)は、英国に本部を置く国際的な非営利団体 CDP(※)が公表した「気候変動レポート 2023」において、8 段階評価の中、上位から 3 番目の「B スコア」に認定されました。

本調査は、気候変動に対する目標設定や事業戦略、リスク・機会の認識、温室効果ガスの排出量の開示などの観点で企業の取り組みを 8 段階(A、A-、B、B-、C、C-、D、D-)で評価するものです。



当社は気候変動課題への対応を重要な経営課題の一つに掲げ、CO2 排出量削減の活動や脱炭素化に貢献するコーティング技術の開発など、環境問題に対する取り組みを強化しています。また、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に沿った情報開示の充実にも努めており、こうした取り組みが評価されました。

今後も事業活動を通じて社会課題の解決への取り組みを積極的に行い、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

トーカロサステナビリティサイト:<https://www.tocalo.co.jp/sustainability/>

※ CDP:Carbon Disclosure Project。英国のロンドンに本部を置く 2000 年に設立された非営利団体)。環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買企業の要請に基づき、主要国の民間企業や自治体に対し気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関する情報開示を求め、分析・評価することで、グローバルな環境課題に関する働きかけを主たる活動としている。2023 年は、世界の時価総額の 3 分の 2 を超える約 23,000 社が CDP を通じてデータを開示している。

CDP ジャパン ウェブサイト:<https://japan.cdp.net/>

◇本件に関するお問い合わせ先

トーカロ株式会社 経営企画部

TEL:078-303-3433

Email: tocalo_0097@tocalo.co.jp